

## 8 名古屋大学 工学部 生命物質工学科合格 / 28 回生 2009 年(平成 20 年度)卒

僕は、受験には何よりも基礎が大切だと思います。自分にできない問題は、同じ大学を目指す人も当然苦戦します。なので、解ける問題を確実に点数として取ることが定石とも言えると思います。ここまでは誰もが分かっていると思うので、次は僕なりの勉強の仕方を書きます。

まず、基礎は夏休み終了までに完成を目指して下さい。

英語は、単語とネクステージを終わらせませす。単語は単語帳を使おうが、英文中から覚えようが、覚えられれば何でも良いです。また、注意してほしいのが、問題集を終わらせるということは、その問題集の問題を9割ぐらいい解けるようにすることです。だから、同じ問題集を何周もします。できた問題には○をつけて、できなかったら×をつける。○が3つたまった問題は、次からパスする。このようにすれば、確かに1周目は時間がかかりますが、2周目は同じ問題なのでスピードが上がりやすし、その次もより早く終わるので案外時間はかかりません。

次に、数学ですが、これも繰り返しが大切です。僕はすぐに答えを見る方なのですが、1回目は答えを見て理解したら、何も見ずに解答して、正答できたら○をつけて良いと思います。当然、2回目は何も見ないでやって下さい。ただ、これはチャートレベルの基礎にしか言えません。過去問などでは、悩んで解いたほうが良いです。

また、全ての教科に言えることは、参考書を買った方が良い、ということです。「受験 参考書」などと検索すれば、評判の良いものが簡単に分かります。どうせ勉強するのなら質を高めて下さい。応用は基礎が完璧になってからです。一般的に、基礎が完璧になれば偏差値 60 はいくと言われていています。実際 60 は厳しいとは思いますが。名大の問題も大半が基礎です。今年の化学は、センターレベルだと思いました。

とにかく、繰り返しを大切にして下さい。あとは、目標を作して下さい。このことを学びたい、とか、この部に入りたい、とか、あの人と一緒のところがいい、とか何でも良いです。そうしないと絶対に勉強が続きません。

では、第一志望に合格できるようにがんばってください。今まで成績が上がらなかった人は、やり方が悪いだけだと思います。一度上がれば、試験や模試が楽しみになるはずですよ。

## 9 岐阜大学 工学部 生命工学科合格 / 28 回生 2009 年(平成 20 年度)卒

私には高校3年間常に心がけてきたことがあります。それは、予習→授業→復習のサイクルの徹底、補習は必ず出席する、といった「やるべきことはきちんとやる」ということです。授業でより理解を深めるための予習、そして学んだことを定着させる復習は必ず行うべきです。特に復習は怠りがちになりやすいけれど、復習しないとせっかく予習して授業を受けても、あまり身につけていないことが多かったので、復習重視で進めるのがいいかもしれません。また、先生方が熱心に指導して下さる補習はとても内容が濃く、自分の気づかなかった弱点が発見できたり、苦手克服ができるので、積極的に参加しました。サボってしまう子もいたけど、周りの甘えた雰囲気になれないことが大切だと思います。

そして、わからない問題はそのまましておかないことも、忘れないようにしました。受験では、自分の穴をつつかれると怖いので、とにかく穴がなくなるよう心がけました。

受験の最大の敵は「自分」だと思います。合格をつかむのも自分だし、辛いとき逃げ出すのも自分です。受験は楽しいことばかりじゃないし、苦しいけれど妥協したらきっと合格はつかめなかったと思います。今の自分に満足することなくがんばり続ければ、絶対最後にその結果は出ます。後輩の皆さんにも最後まで諦めず進路実現に向けてがんばってほしいと思います。

最後になりましたが、熱心に指導して下さる先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。